
先生、不審者は邪魔に入りますか？

怖気忘郷

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

先生、不審者は邪魔に入りますか？

【Nコード】

N1185K

【作者名】

怖気忘郷

【あらすじ】

主人公、守屋絵衣子（eiko moriya）と坂井江井夜（eiyasakai）

の教室で行う授業を妨害する不審者は後をたたない。

彼女達は大人や男をも超える力を持ち、

次々に来る不審者共を撃退したりするのだが……

プロローグ

なんていうか、あいつは馬鹿だと思う。

なんで窓を割ったり壁を突き破ったりしてまでこの何も無い教室へ入るのだろう。

修理代は？

罰金は？

彼にとってそんなものはどうでもよさそうだった。

ただ、愛する人さえいれば……

と、何故私が言わなきゃいけないんだ。最後のただ、愛するゝはいらないだろ。

まあそんなことはどうでもいい。

……いや、どうでもよくないか。

とにかく奴が行けばいい。

間違い。逝けばいいんだ。

先生、不審者は邪魔に入りますか？

先生、不審者は邪魔に入りますか？

授業妨害（前書き）

登場人物紹介

守屋絵衣子（eikomorिया）

坂井江井夜（eiyasakai）

符魁好実（iimihukai）

不審者（hussinsya）

授業妨害

私の名前は守屋絵衣子。
友の名前は坂井江井夜。
隣同士のクラス。

2人も不審者がいて、
どう撃退をするのか……

私たちはどう戦うか

授業妨害のときはすぐに始まった。
不審者が豪快に窓を割って出てきた。

「豪快に、ねえ……。」

江井夜はずっと呆れていた。

「……………チッ」

江井夜は何を思ったのか、舌打ちをした。

何を知ったかというと、
彼がロリコンという存在である。

名前まで知っていたらやってやる。
江井夜はそう心に決めた。

隣のクラスからこんな声が聞こえてきた。

「えええ、江井夜ちゃんだ〜！」

やめて欲しい。

授業妨害だ。

ってか何で江井夜の名前知ってるんだ。

「帰ってください。はっきり言って授業妨害です。」

あーあ、先公にまで言われてやんの。

帰って欲しい。つか帰れ。

先公、もっと言ってやれ。

一方その頃……

「人質だあ！ コイツは俺のものだ！」

「やだ！！ 離して！！！」

好実の叫び、不審者の強欲。いや、色欲？

よく分からん……

「…………チツ」

絵衣子は舌打ちした。

不審者の願望

「授業なんかぶつつぶれちまえばいいのに。」

絵衣子は言った。

授業つぶれやがれ根畜生。

江井夜、大丈夫なのか？

芽衣子はそう思っていた。

一方その頃

「授業妨害だッ」

江井夜は言った。

江井夜は逃げた。

絵衣子達のクラスへ。

「絵衣子オツ!!!」

絵衣子はあっさり振り向いてくれた。

「江井夜か？どうした？何があつた？」

絵衣子は同じような不審者がいるのではないか、
とは思っていた。

そう、その通りなのである。

「不審者がいる」

ただその一言を残して、江井夜はどこかへ行った。
絵衣子は叫んだ。

「暇あつたら手伝えよ」

江井夜は、

「あいよ」

と返事した。

江井夜が向かったのは教室ではなかった。

向かった先は、職員室。

とにかく巻き添えになりたくないという思考だけが頭の中で回る。

授業妨害はまだまだ止まらない！

誰か止めて誰か止めて
誰か誰か誰か誰か

あの人間と言う名を持った人間を

私はもう使えない
私はもう逝けない

だから貴方が一番の救世主

この言葉を貴方に引き継ごう

「……………誰だよ……………」

どうやら寝てしまったらしい。

……………と、いつことは……………

……………やっべえ……………

「くおおるああああ！…守屋ああああああ！…」

やっべ……………馬路でやべえ！！

先公から逃げる対策を……………

なんてやっている暇はねえ！！

ただ逃げるのみ……………！！

ガラッ

「江井夜あああああああああ！！！」

授業妨害はまだまだ終わらない！

END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1185k/>

先生、不審者は邪魔に入りますか？

2010年10月9日02時03分発行